

科学、魔術、科学と来たので、本作は魔術サイドのお話——ではありませんが、しっかりと美琴の出番はあるという。まあ、今回はしっかりインデックスさんが活躍します。相手の魔術を見破ったりとかお仕事してますよ！

オリキヤラはシシリーフェイ。通称『妖精』の名を持つ魔術師です。オリアナルトムソンの『速記原典』のような簡易魔導書による魔術を行います。スケッチブックに描いた妖精の絵を相手に見せる事で、各妖精に対応した事象を発生させる事ができます。ただ効果的には相手に幻覚を見せたり、相手の感覚を狂わせたりと直接的攻撃ができる訳ではありません。そのせいで上条との戦いはシシリー自身がまったく目立てなかったという、またまた反省点のある結果になりました。ちなみに禁書世界にファンタジー的な妖精がいるかは微妙な所ですよ。黒小人は実際いるけれど、エイワスは出てきたり、ドラゴンの伝承はあったりで幻想生物については今ひとつ曖昧なまま。どこかでそういう話が原作であるとうれしいのですが……。

本作は魔術サイドと思わせつつ、学園都市の実験動物達もメインという、まさに魔術と科学が交又したようなお話でした。人も実験に使われるならそれ以上に動物達もという感じで。ただ一番奇抜だったのが鶴だったので、もう少し違うのも出したかったなーなんて。

